

公益目的支出計画に基づく実施事業

研究等助成事業

平成30年度 募集要領

研究開発助成事業

◆研究開発

【平成30年度 研究開発助成事業募集要領】

◆研究開発

1. [趣 旨]

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズが多様化する中で、適切な国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するために、土木技術、資源の循環、環境システム等のハード及びソフト両面についての研究開発を、若手研究者の育成も兼ねて、九州地区の大学・工業高等専門学校に対して募集し、それに要する費用を助成するものです。

2. [募集テーマ]

1) 一般テーマ

土木技術、資源の循環システム、環境対策、地球温暖化対策、持続可能な開発、新分野の取り組み等のハード及びソフト両面についての研究開発。

2) 特定テーマ

① 地域の活性化・再生

人口の減少、高齢化や産業の衰退などにより悩む地域の活性化、地域の自立を図る基盤整備、魅力ある観光地の創出、よりコンパクトな市街地への再生、コミュニティによる活力あるまちづくりなどが求められています。

そこで (1) 社会的課題解決に向けた住民、NPO、大学、行政が連携して、取り組むまちづくり

(2) 観光などの産業振興や高齢社会を支援する社会資本づくりとそのあり方

(3) 地方創生、過疎地域の活性化対策

などの幅広い分野におけるハード及びソフト両面からの調査研究。

② インフラの老朽化対策及び生産性向上方策

政府は2013年を「社会資本メンテナンス元年」と位置づけ、これまでにインフラ長寿命化基本計画に基づき行動計画や具体的な点検・修繕計画を展開中です。

さらに国土交通省では、2016年を「※生産性革命元年」と位置付け、社会全体の生産性向上につながるストック効果の高いインフラ整備・活用や、関連産業の生産性向上、新市場の開拓を支える取組を加速化しています。

これを踏まえたインフラの老朽化対策における堅実な取組み及び生産性向上方策の取組みに対するハード及びソフト両面からの調査研究。

(※国土交通省HP(<http://www.mlit.go.jp/>)「国土交通省生産性革命プロジェクト」にてパンフがダウンロード出来ます)

③ 九州地域等における防災・減災対策

熊本地震及び九州北部豪雨災害を受けて九州地域等におけるハード対策及びソフト対策として社会インフラを預かる関係機関の備え方や市民への働きかけ、さらにはボランティアのあり方など、多くの切り口からの調査・研究・分析。

3. [応募方法]

応募する研究の目的、研究の内容、研究の特色、予想される効果等についての様式に準じて作成し、下記の応募先まで提出して下さい。

1. 「申請書」…………… 別紙(様式1)によります。
2. 「研究開発計画書」…………… 別紙(様式2～3)によります。
3. 「研究開発計画書」(概要版)…………… 別紙(様式4)によります。

・提出は郵送にてお願いします。

- ・申請件数は、1人(共同研究の場合は、1研究グループ)当たり1件とします。(人材育成を含む)
- ・申請書の様式等は、当協会ホームページ<http://www.qscpuu.or.jp/>からダウンロードできます。

4. [応募対象者]

九州地区の国・公・私立の各大学・工業高等専門学校(ポストドクター及び博士後期課程在籍の学生を含む)。

5. [助成内容]

一件あたりの助成額は、100万円以内とし、助成件数は5件程度とします。

なお、助成件数及び金額については、応募状況に応じて、多少の変更を行う場合があります。

また、文部科学省科学研究助成金の内定者及びその他の助成金受領者については、できるだけ多くの研究者に助成したいとする趣旨から、採択の可否、助成金額について検討します。

6. [助成金の使途]

助成金の使途は、事業に直接必要な経費に限定します。研究者本人及び長期雇用に係わる人件費、飲食費、パソコン、カメラ等の通常使用する機器、備品等で研修終了後も残る新規購入費等及び研究と関連性の無い出張経費、消耗品の購入費等は原則として認めないものとします。

7. [研究期間]

①平成30年6月中旬～平成30年3月31日

②研究の期間は、原則として単年度とし、場合によっては複数年の期間も可とします。ただし、研究成果の提出は単年度研究と同様に行うものとします。また、研究助成の申請も単年度毎に行う事となります。

8. [応募期間]

平成30年2月15日(木)～平成30年3月31日(土)(消印有効)

9. [助成対象者の選定及び決定通知]

応募された案件については、実現性や研究開発による効果等の観点から学識経験者、有識者等で構成された審議委員会において審査を行い、助成対象者を選定します。

選定にあたっては、若手研究者の育成という観点をも考慮致します。

なお、助成対象者の決定と、決定通知の発送は、6月を予定しています。

※同じ研究テーマにおける他機関への助成応募において、文部科学省の科学研究助成金及び、その他助成金の申請が内定した場合、速やかに事務局へ連絡をしてください。

10. [成果の公表・発表等]

- 1) 当協会は助成事業の成果報告会等を予定しています。研究助成対象者には、通知しますので必ず発表をお願いします。(共同研究者でも可)
- 2) 採用された研究の報告書については、当協会の建設資料館にて閲覧できます。但し知的財産に係わるものについては別途両者の協議対象とします。
- 3) 助成対象研究者は成果を広く周知するため各種発表会等で、出来るだけ発表を行って下さい。なお、報告会、学会誌、雑誌等に発表する場合は、当協会の助成を受けた旨を明記して下さい。

〈備 考〉

1. 応募に要する費用は応募者の負担とします。
2. 応募されたテーマについては、当協会がアイデア等を他に使用することは一切有りません。
3. 問い合わせなど確実に連絡ができる電話番号及びメールアドレスを記載して下さい。
4. その他不明な点は、下記の事務局まで問い合わせ下さい。

◎応募及び問い合わせ先

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号

一社)九州地域づくり協会

企画部 企画課 有村 次男(arimura@qscpua. or. jp)

松井 健之(matsui@qscpua. or. jp)

TEL:092-481-3781(代表)092-476-5680(直通)

FAX:092-481-3785

【参 考】 ※ 過去の応募、採択件数状況の事例参考

[研究開発]

過去14年間の応募件数、採択件数、採択率は下記のとおりです。

	応募件数	採択件数	採択率	備 考
平成16年度	25	10	40%	
平成17年度	32	8	25%	
平成18年度	20	8	40%	
平成19年度	17	7	41%	
平成20年度	20	8	40%	
平成21年度	23	12	52%	
平成22年度	34	11	32%	
平成23年度	11	5	45%	
平成24年度	18	7	39%	
平成25年度	10	5	50%	
平成26年度	20	5	25%	
平成27年度	15	5	33%	
平成28年度	31	10	32%	
平成29年度	20	7	35%	

平成29年度 研究助成一覧表]

番号	研究課題名	研究テーマ
		特定／一般
1	視認性、景観性に着目したカラー舗装の維持管理のための劣化基準の検討	特定
2	水系感染症を引き起こす病原性微生物の新規不活性化技術の開発	一般
3	VR（バーチャルリアリティ）を導入した交通安全教育プログラムの提案	一般
4	産業廃棄物・副産物を使用した高性能自己治療コンクリートの開発	一般
5	熊本地震の観測波を用いた落橋防止ケーブルの効果を検証する加振実験	特定
6	耐震補強が困難なRC構造物に対する新たな補強工法の開発	特定
7	上部構造と変位制限構造との衝突による橋台躯体への損傷進展に関する基礎的検討	特定